



枚方市議会議員 池上のりこ 市政報告NEWS

池上典子のホームページ

<事務局>枚方市楠葉中町35-16

<TEL/FAX> 072-856-2901

<枚方市役所> TEL.072-841-1221 (代表)

携帯用QRコード



<http://www.ikegami-noriko.jp> (いけがみ-のりこ.jp)

この市政報告は、市政調査の為に発行しています。皆様から頂くメール、お手紙等はパブリックコメントとして議会活動に生かしていきますので、ご意見をお待ちしています。

厳しい寒さの中にも、春の兆しが感じられる季節になりました。皆さんお元気ですか。

昨年の暮れに突然の衆議院の解散、総選挙があり、戦後最低の投票率となりましたが、枚方市には自民党の**佐藤ゆかり議員**、民主党の**平野ひろふみ議員**、維新の党的**いとう信久議員**と3人の代議士が誕生しました。市内には次世代の党的**江口克彦議員**がお住まいなので、4人の国会議員が居られるわけです。市民の為にお知恵、お力をどうぞお貸し頂きたいと思います。

自治体議員はそれぞれの地域に特化すると以前は考えていましたが、年金・健康保険等の社会保障や国・自治体の借金などを見れば、市民生活に直結する国の多くの事業が揺らぎ、枚方市だけとはいがたい状況です。

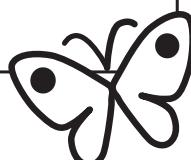
昨年の11月に池上の所属していた「みんなの党」は解党し無所属となりましたが、「改革の旗」を私が掲げたのは20年前、民主党さえなかった時代です。真面目に働き、文句を言いながらで

もきちんと税金を払う多くの市民の為に、既得権と戦い「持続可能な社会を求めて!!」改革を前に、一歩でも前に進めるよう、これからもがんばります。

- 枚方市駅周辺再整備について ····· P 2
- 市立ひらかた病院オープンについて ··· P 4
- 清掃工場の建て替えについて ····· P 5
- 生活保護費の返還金について ····· P 5
- 東部清掃工場の売買電について ····· P 6
- 図書の購入費について ······· P 6
- 市の借金と臨時財政対策債について ··· P 7
- そうだ選挙、行こう！！··· P 8

【池上のりこプロフィール】

生年月日	: 1953年 1月5日生 (B型RH+)
経歴	: 1971年 岡山県立津山高校卒業 : 1975年 日本大学法学部卒業 : 2011年 枚方市議会議員 5期目 : 2013年 枚方市議会 副議長
家族	: 夫、3人の子供
大きさ	: 身長/163センチ、体重/?
ニックネーム	: 「がみちゃん♪」
趣味	: 囲碁(3段)



1、枚方市駅周辺再整備、始動！？



平成26年6月に「経済財政運営と改革の基本方針2014年」が閣議決定され、社会資本整備において、地域における公的施設について国と地方公共団体が連携し、国公有財産の最適利用を図ると明記されました。これを受けたて昨年の12月2日に、枚方市で「国・府・市有財産の最適利用推進連絡会議」が設置されたところです。

昨年の6月議会の中で池上が質問をし、その後多くの市民の方から様々なご意見も頂いたところなのですが、始動が現実味を帯び、枚方市の未来に大きな影響を与える巨大プロジェクトなので、再度皆さんのご意見をお聞きしたいと思います。

以下議会での池上の質問要約を掲載します。…そのままの文章は枚方市議会HPで

■枚方市駅北口：総合文化施設については議会・委員会等で精力的に深い議論を重ねてきたところですが、なぜ、まず総合文化施設なのかとの疑問が多くの議員から出されました。本来であれば、枚方市駅周辺をどうするのかという構想をたて、その中で位置や規模、単独・複合などの議論を進めるべきとの考えです。

行政の作成した市駅周辺再整備ビジョンについては、立派な冊子が平成25年3月に出来上がってはいますが、「総合文化施設」以外はほとんど不確定なものです。多くの方が建設を切望されているとの認識はしていますが、将来にわたり市民の理解を得、愛され親しまれるものにする為にも、今、十分な検証が必要と考えます。

駅北口では、**関西医大の学舎**①はすでに淀川の前にそびえ立ち、駅からも、全く淀川の豊かさを感じることはできなくなりました。その学舎と4階建ての**ラポール**②の谷間のような場所約1万5千m²③に、今回の**総合文化施設**の建設が予定されています。**建設費100億円規模**という総合文化施設では、建設費の縮減や街のにぎわいの観点から、**民間との複合で高層化する案**多くの議員から提案されました。もともと駅前ということで、高層を求める地域なのです。

提案の一例ですが、

マンション等と合築して複合の高層にするという案も、行政からは「**のる業者はありません。**」との一点張りです。北隣は3次救急の**関西医大枚方病院**④です。文化ホールが併設され、ラポールの温水プールも南隣です。祇園四条や大阪の中心部に約30分で行ける「特急停車駅の枚方市駅」が、歩いて5分弱の立地です。そんなマンションに住みたい方は関西圏でも沢山おられるはずなのです。

ホテルとの合築にしても、関西医大が隣接していますから患者の方、家族の方、学校関係者、そして40万市でたった一つのシティホテルで冠婚葬祭、同窓会、遠方からの来客等市民からの大きなニーズはあるはずです。しかし行政からは「**民間は乗りません。**」ということでした。

2月22日に「総合文化施設、設計事業者の選定審査会：技術提案のプレゼン」が行われます。「一刻も早く」という多くの団体の方たちの気持ちは理解できますが、市長によるトップセールス等何かできることはなかったのか?との思いが残ります。



■**枚方市駅南口**：駅前の南口で言えば、撤退した**近鉄百貨店**の後には、たまたま(株)ソウ・ツー⑤(ツタヤ関連会社)が入り、今大規模工事が進められていますが、陸橋でつながれた老朽化するサンプラザの1号館⑥・3号館⑦はどうするのか、**市役所**⑧は、**職員会館**⑨は、**保健所**⑩は、何一つ具体的に示されたものはありません。昭和46年に建設された枚方公共職業安定所（ハローワーク⑪）は、

2013年の10月にビオルネに移転し、土地が枚方のものであることから築40年以上にもなる建物を市が買い取り、耐震補強工事をして使うなど、**何もかもが出たとこ勝負の**ような市としての計画性が全く感じられず、最終的に無駄なお金がいたるところで使われている気がします。

また、枚方市駅北口徒歩約1分の場所には、昭和30年代に建設された**大阪府住宅供給公社の住宅**⑫120戸もあります。そして南口には国の**簡易裁判所**⑬や**検察庁**⑭、**法務局**⑮、**税務署**⑯等や府の**北河内府民センター**⑰、**枚方警察署**⑱等の**老朽化した公共施設**も沢山あります。

絵に描いた餅を写真にとり、さらに額に入れるような作業に時間と膨大な力をついやすより、行政マンには出来ない、政治家としての市長の思い、リーダーシップが今こそ必要です。枚方市は他の自治体ではあまり見られない、**40万市の駅前の一等地に多くの市有地**を持っていました。



駅周辺に点在している市の公共施設を、老朽化した国・府の多くの建物と共に駅前から後退させ、府民センター^⑯のあたりに国・府・市の官公庁全てが入る高層の合同庁舎として駅周辺を広く空け、その青写真を示すことによって、民間企業に参入意欲を持たせ、処分した公共施設の土地代を建設費の一部にあててはどうでしょうか。

また、これにより当然のことですが、住まわれる方たち、事業者からの収入も税金として将来にわたり入ってきます。この構想については、以前からの複数の議員の思いでもあります。

法務局^⑮の隣接地にも、すでにマンションの建設工事が始まっています。早急に手を打たなければ、枚方市駅周辺整備の夢はまた、半世紀のちになってしまいます。この数年の中に、50年後、100年後を見据え、官公庁のみならず、商工会議所や農協、郵便局等を含め、枚方市駅周辺の大きな青写真がかかるかどうかが市の未来を大きく変えていきます。そして、それは国・府へのおねだりではなく、人口減少時代を見据えた公共施設の老朽化への新たな提案にもなるはずです。



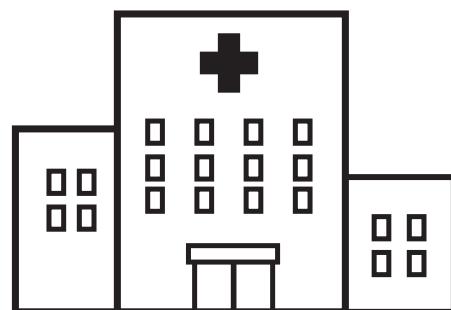
2、市立ひらかた病院オープンについて

■昨年の9月に「枚方市民病院」が「市立ひらかた病院」と名前をかえて、地上7階、地下1階の新病院としてリニューアルオープンしました。

■14年前に50名近い医師・看護師が納入業者の饗応等にかかり、外科医局は全ての医師の交代、名誉院長が逮捕され、調査の中では、患者の方からの金銭の收受まで常態化しており、当時、池上は市民病院廃止の先鋒にたっていました。

■大変な時期もありましたが、院長を中心に歴代の病院事業管理者や関係者の皆さんの絶え間ない努力と、必死の経営改善によって現在に至っています。

しかし、総事業費約170億円をかけた病院経営の正念場はこれからです。また、その返済金の内、約80億円は税金として市民全体が負担することになります。市民一人当たり約2万円です。約3割の一度も利用したことのない市民の方もこの中には含まれます。オープンから現在までは、入院・外来患者数も順調に伸びているということですが、全国的にも厳しい自治体病院の経営という現実を踏まえ、正念場はこれからだと考えています。



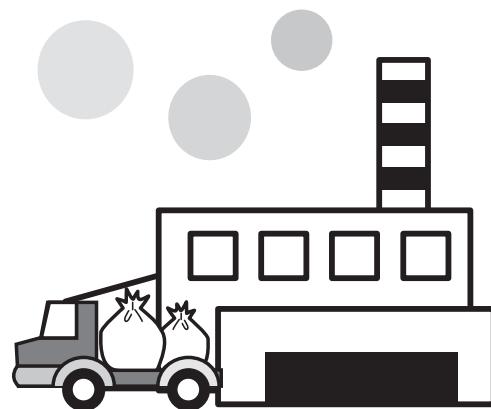
3、清掃工場の建て替えについて



■枚方市の処理しているごみ量は年間約10万トンですが、その内約7万トンは東部清掃工場で、残り約3万トンを穂谷川清掃工場で処理しています。東部清掃工場の建設に際しては、全市の一括処理との考え方もあったのですが、国の補助金の関係や搬入・搬出の交通状況やご負担を求める地域の方たちのご希望等の様々な要素があり、結果として2か所処理になりました。

■東部清掃工場は平成20年に稼働したところですが、穂谷川清掃工場は昭和63年の稼働ということで、すでに26年が経過し、平成35年までの延命措置として大規模な老朽化対策が進められています。平均的な炉の耐用基準は20年から30年ということ、また建設までの課題解決に長期間かかることもあり場所も含めて議論になっていたところです。

■そのような中で昨年1月に隣接する京田辺市（京都府）から可能性協議の申し出があり、現在は、今回の建設場所については京田辺市でということで共同建設に向けた協議が始まろうとしています。地域の方たちの思いや交通環境、府県をまたぎ2市での合同事業になることから、それぞれの自治体の利害・条件等、困難な課題は多くあります。



4、生活保護費の返還金について

■生活保護制度は言うまでもなく、国民の最低限度の生活は国が補償するという憲法にも定められた基本的人権の一つですが、一部の方たちによる不正行為によってマスコミ等に取り上げられることが多くなってきました。

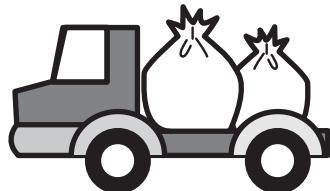
■4年前にも池上のところに不正受給の疑いとの通報が寄せられ、当時の担当課と連携を取りながら、全国で初めてという市役所担当課からの警察への告発が行われました。



■枚方市の生活保護費返還金は、平成25年度決算で1億4868万8637円、年間約1億5000万円という大きな金額になり、毎年増加の傾向です。今後導入を予定されるマイナンバー制度等により、公平性・公正性の確保は容易になる可能性はありますが、「働く意欲があっても、職がない方たち」に対するフォローも益々必要になってきます。

5、東部清掃工場の売買電について

■東部清掃工場では、ごみ焼却に伴って発生した電力で場内すべての電力をまかない、**余剰分は売電**をしています。



■しかし発電設備そのものの定期補修工事の際には、**関西電力**から電気を購入しています。その金額が平成25年度では

2934万2783円、約3000万円です。電力購入については枚方市の本庁や教育委員会関係施設では「**競争入札**」によってコスト削減を行っていることから、東部清掃工場においても「競争入札」を10月の決算委員会で提案し、「**今後は競争入札によるコスト削減に取り組む**」との担当課からの回答をもらいました。

■また、発生した電気の売電ですが、平成25年度は**売買契約の見直し**により、年間で2億1141万6913円と前年比約7300万円の增收になっています。清掃工場は本来廃棄物を、いかに安定的に安全に衛生的な処理を維持していくかという使命を負っていますが、どのような部署であれ、「徹底的な財政面の見直しをする。」という、この意識が大切だと考えています。

6、図書の購入費について

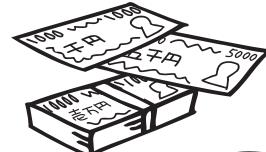


■枚方市では、図書館蔵書計画や市民の皆さんからのリクエストをもとに、選書会議で検討し中央図書館でまとめて「**枚方市書店商業協同組合**」に随意契約で発注しています。

■平成25年度にこの組合から購入した書籍金額は4546万1337円です。10月の決算委員会で、「なぜ競争入札ではなく、**随意契約**なのか？」を質問しましたが、担当課からは「図書等が著作物再販制度の対象物品であり、**価格競争になじまない**ため、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号その性質又は目的が競争入札に適さないものとする規定により、入札を行わず定価で購入しています。」との答弁でした。

しかし、他市では「競争入札による図書の購入」で1割以上の効果をあげている自治体も増えてきています。

また、担当課は「**地元業者育成**、装備費用を含ませることで経費削減をはかっている。」との答弁なのですが、市内全ての業者が当該組合に入っているのか、利益はいくらでその分配はどのようにになっているのか、それは**税によって支えるべきもの**なのか等、他の書籍購入も含め、行政として明確な説明責任が求められます。



7、市の借金と臨時財政対策債について

なぜ、永田町でも霞が関でも大きな議論にならないのか…？

■枚方市の借金（地方債）の額は、普通会計が約992億円

特別会計+企業会計（下水道会計約840億円、水道事業会計約219億円、病院事業会計約28億円等）を合わせると、市全体では約2080億円になっています。

＜平成24年度末地方債現在高＞

■普通会計約992億円の内、臨時財政対策債が約462億円を占めています。

*臨時財政対策債：もともとは「現金」で国から交付すべきお金を、将来、国が確実に地方交付税によって財源保障する（国が払うから）という「約束」で、自治体の臨時財政対策債（借金）として発行しているものです。

■「臨時」と言いながら平成13年からはじまり、すでに14年が経過し、もはや「臨時」とはいいがたい。

■その上、金額についても、平成13年度当初は約16億円の発行であったものが、年々増加し、平成25年度では約80億円もの発行があり、これまでの発行総額は前述のように枚方市だけでも約462億円と莫大な金額です。

■今後、臨時財政対策債として国が全国の自治体に約束した、地方交付税による財源保障が必要になってきます。国全体の借金残高も増加し続けている中で、「国を信頼して」とは、とてもいいがたい状況です。

■枚方市では、今後、総合文化施設建設や市駅周辺再整備、老朽化した学校の建て替え、穂谷川清掃工場の代替施設建設など、多額の経費を必要とする課題が目白押しです。

■行政側は、「当然頂くべきものなので、使う。」との考え方なのですが、チエック機関の議員としては、厳しい事業精査によってせい肉をそぎ落とし、筋肉質で柔軟な財政体質を築き上げ「持続可能な枚方市の構築」に向けて、備えなければならないと考えています。

■また、「臨時財政対策債」で借りた借金は収入として計上されますので、全国の黒字と言われる自治体が枚方市と同じ「赤ランプの点滅状態に、市民の方が気づかない。」という罪も背負っています。

郵便はがき

573-1107

枚方市議会議員

池上のりこ行

枚方市楠葉中町35-16

切手をお貼り下さい。

キリドリ

今年は、4年に一度の統一地方選挙の年にあたりますが、枚方市では市長選挙が8月にずれていることから投票率の低下が心配です。（前回投票率：45, 53%）国も地方も増え続ける借金、医療・年金等、持続可能な制度への転換も待ったなしです。枚方市の将来に大きな影響を及ぼす市議会議員選挙が4月19日（日）からはじまります。

市議会議員投票日：4月26日（日）

■女性の選挙権が認められたのも、約70年前です。その頃を知っている方も沢山おられます。男性だけ、その中でも高額納税者だけの時代も長くありました。現在でも20歳以上の国民だけが持つ権利。小さな方たちの未来の為にも大切な「選挙権」です。

■テレビの政治番組を見ながら「がつん！！」と言っても何も変わりません。

■信号は待っていれば変わります。雨降りも待っていればいつかはやみます。けれど、政治は待っているだけでは何も変わりません。

変えたくない人は、人数は少なくとも声と力は大きいからです。

■棄権は抗議の意思表示ではなく、現在の政治に対する追認です。

※ご意見（パブリック・コメント）をお寄せください。

パブリックコメント（ご意見）



「そうだ選挙、行こう!!」

◆無党派の良心的な棄権者の皆様へ

投票にあたって、この人が絶対だと思えなくてもいいんです。まだましと思える何人かの一人を「えいやっ！！」って投票しましょう。でなければ、あなたが絶対選ばない候補者への「NO！」は届かないのです。

◆若い棄権者の方たちへ

投票に行かない若い世代に対して、政治は「負」の部分を押し付けます。投票に行かない層は怖くないからです。

押し付けられた山ほどの借金を返済しなければならないとき、決定者たちはこの世にいないかもしれませんのです。

(フリガナ)	
お名前	年齢 歳
ご住所	〒